



Interview

日本代表チームの要である永田選手（以下、永）と勝連選手（以下、勝）に突撃インタビュー！二人はオムロン（山鹿市）から代表入り。見どころや世界選手権に向けた意気込みを聞きました。



ながた 永田 しおり選手

福岡県出身。平成18年にオムロン加入。加入年の目標が「4冠」だったことから愛称はカン。平成23年、日本代表入り。攻撃・守備を切り開く影の立役者「ポスト」。

かつれん ちえ 勝連 智恵選手

沖縄県出身。平成20年にオムロン加入。加入年から北京五輪であったことから愛称はオリ。平成24年、日本代表入り。ダイナミックなシュートが魅力の「左サイド」。

選手に突撃インタビュー
ハンドボールの見どころを教えてください
勝：攻守の切り替えがとても速いのが魅力の一つです。守備の場面では、相手のポストプレイヤーと競り合っているところが見どころですね。機動力があり、いつでも動いているバックプレイヤーに注目して、その後の展開を予想しながら見ると面白いですよ。

永：日本は細かい動きと機動力で外国人選手に立ち向かいます。スピードで守備を崩し、いかに隙を突いて得点に結びつけるかがポイントです。
世界選手権に向けての意気込みをお願いします
永：「優勝」と言いたいところですが、これまでの最高がベスト16なので、まずはベスト4が目標です。地元の声援を力に変えて、全力で目標に向かっていきたいです。
勝：東京五輪につながる大事な大会なので、より多くの熊

チームの中心である二人。終始笑顔で語っていただきました。日本選手の皆さんの活躍から目が離せません！

ハンドボールをこれから始める人に一言
永：とにかくハンドボールを楽しんでほしいです！
勝：走る、投げる、跳ぶといった全ての動作が詰まっている競技です。プレーを見た子どもたちに真似してもらえよう、次の世代につながるように頑張りたいです。

本の皆さんにいいプレーを見せられたらと思います。



▲試合でシュートを打つ勝連選手



見たら絶対好きになる！

女子ハンドボール世界選手権大会

昨年12月4日に山鹿市で開催された女子ハンドボールアジア選手権「日本VSイラン」戦



今年11月30日～12月15日に県内5会場で開催される「2019女子ハンドボール世界選手権大会」。国内で開催される女子ハンドボールの世界選手権で、全試合が1つの県で行われるのは初めてのことです。

見たら絶対好きになる。ルールや見どころが分かるともっと好きになる。ハンドボールの魅力や大会情報をチェックして、一緒に大会を盛り上げましょう。

ハンドボールのこころが見どころ！

- ①コートに入れるのはゴールキーパー含む7人。本大会のベンチ入り可能人数は16人。
「知れば知るほど好きになる」ハンドボールのルールや見どころを、ハンドボール経験者の森田さんとくまモンが教えます！
- ②ボールを持ったなら「3歩、3秒以内」に投げないと反則になります。
ボールが素早く飛び回るので、試合展開が速い！
- ③ボールの大きさはレタス程度。片手で持つことができま
- ④肉体がぶつかり合う激しいスポーツ。正面からの接触プレーはノーファール。
シュート速度は時速90を超えらることも



この迫力はぜひ試合会場で！



熊本国際スポーツ大会推進事務局 もりたけいすむ 森田 勇さん



くまモン 電キエックま！

ラグビーワールドカップ2019を熊本で2試合開催！

今年はラグビーの国際大会も熊本で開催。熊本を含めた日本の12都市が開催都市に選ばれています。「4年に一度じゃない。一生に一度だ」。一緒に応援してラグビーも盛り上げましょう。

熊本県民総合運動公園陸上競技場で開催予定の試合

- 10月6日(日)午後4時45分～ フランス vs トンガ
- 10月13日(日)午後5時15分～ ウェルズ vs ウルグアイ

関わり方は人それぞれ。いろいろな方法で大会に参加しよう！

チケットをオフィシャルサイトで先行販売中！
●申込期間 2月3日(日)～6月20日(木)
●ホームページ <https://japanhandball2019.com/>

大会運営・語学ボランティアスタッフ二次募集
ボランティアスタッフ二次募集を4月から開始予定です。
●問い合わせ 2019女子ハンドボール世界選手権大会 組織委員会事務局 ☎096(333)2558

ハンドインハンド Hand in Hand
大会公式PRキャラクターのくまモンをデザインしたハンドボールが県庁をスタートし、国内、さらには海外のハンドボールフレンドなどを次々に結ぶ様子を紹介しています。毎月7のつく日に更新。ぜひご覧ください。



動画はこちら↑